

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

【現状分析】

中心市街地の商業集積について、平成19年と平成28年の状況を比較すると、金沢経済圏全体の小売事業所数、販売額ともに減少する中で、占有率も事業所数でマイナス12%、販売額でマイナス7%と減少しています。小売業中心性指数も2.1から1.6に低下しました。これまで、中心市街地における集客力の低下を食い止めるため、都心軸沿いの商業集積地を中心に、空店舗への出店促進、有名ブランドの店舗誘致、商店街が連携して行うイベント開催など、各種賑わいの再生に向けた多面的な取組を進めてきました。

片町地区の老朽ビルを再生した複合商業施設「片町きらら」の完成後は、片町地区だけではなく隣接する堅町地区の歩行者数も増加するなど、施設整備がまちなかの賑わい創出に一定の効果をもたらし、北陸新幹線金沢開業による交流人口の拡大により、まちなかの賑わいは戻りつつありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、まちを訪れる人が激減し、まちの賑わいが減っています。

また、北陸新幹線金沢開業から新型コロナウイルス流行までは、市民の台所として親しまれている近江町市場等で観光客が急増し、混雑を嫌う地元客離れが問題となるなど、観光客と市民の双方が快適に過ごせる商業環境を整えることが課題となっており、アフターコロナの需要の回復に向けて、持続可能な観光振興に留意する必要があります。

【商業の活性化の必要性】

この現状を踏まえ、商業の活性化のために欠かせない交流人口の拡大を図るため、中心市街地の歴史的、文化的資産を活用した魅力発信、イベント開催に取り組むとともに、来街者の消費活動を促すため、幅広い年代やインバウンドに対応したモノ消費に限らない魅力的な商業環境の整備、大型テナントの誘致を進めていく必要があります。

また、ポストコロナを見据えた観光施策の充実や、木の文化都市創出、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出など、新たな価値の創出を商業の活性化につなげていく必要があります。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当無し

(2) ① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業名】 中心商業地集客促進事業

【事業実施時期】		平成 29 年度～	
【実施主体】		㈱金沢商業活性化センターほか	
【事業内容】		中心商業地の商店街の活性化に向けたイベント（複数の商店街が連携し、参加各店が期間限定メニュー等を提供する飲食イベントである金沢バルの開催や、商店街及び大型店等が連携し、夏まつり等の集客イベントや回遊性を高めるためのスタンプラリー）等の開催を支援する。中心商店街の誘客に向けた調査分析や誘客促進事業を実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	中心商業地の商店街が連携し、地元客や観光客、幅広い年代の誘客に有効なイベント等を行うことは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】 中心市街地賑わい創出事業

【事業実施時期】		平成 5 年度～	
【実施主体】		商店街振興組合ほか	
【事業内容】		中心商店街において、賑わい創出等に向けて取り組む事業（商店街の魅力を広く発信するHP やマップの作成、来街者が憩えるベンチ等の設置、利便性向上のための業務のオンライン化やキャッシュレス化に繋がる事業等に対し助成）を開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	複数の中心商店街で、新しい生活様式への対応や活性化に資する事業を実施し、魅力ある商業環境を作ることは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】まちなかミュージック&アートストリート開催事業

【事業実施時期】	平成 11 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	中心商業地の広場等でアマチュアパフォーマーによるイベント（まちなかの空きスペースを活用し、地元のアマチュアバンドや歌手等による演奏や、太鼓、ダンスパフォーマンスなど年間を通し複数回のステージイベント）を開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	中心商業地において、地元のアマチュアパフォーマーによるイベント等を開催することは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】冬の夜景創出（ライトアップ）事業

【事業実施時期】	昭和 62 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	都心軸の主要交差点周辺における冬期ライトアップの実施に助成する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	来街者が減少する傾向にある冬期において、中心市街地のメインストリートである国道 157 号線沿いのイルミネーションにより、賑わいを視覚的に創出することは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】金沢クラフトビジネス創造機構運営事業

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	(一社) 金沢クラフトビジネス創造機構		
【事業内容】	「金沢クラフトビジネス創造機構」や「金沢・クラフト広坂」の運営及び製品開発支援、後継者育成、情報発信など事業を実施し、伝統工芸品産業、繊維産業及びデザイン業を含めた生活文化産業である「クラフト」のビジネス化を推進する。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	クラフトのビジネス化の拠点、伝統工芸品を扱うアンテナショップ「金沢・クラフト広坂」を中心市街地において運営することにより、地域資源である「工芸」を活用したまちの魅力の増進につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】クラフトプラザ香林坊運営事業

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	クラフト分野での事業者の育成を目的とするインキュベーション施設を運営する。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	クラフト分野のビジネス化を推進するインキュベーション施設を運営することで、都市機能の集積を図り、地域資源である「工芸」を活用したまちの魅力の増進につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】尾張町老舗交流館運営事業

【事業実施時期】	平成8年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	尾張町商店街の空き店舗を借り上げ、藩政期から続く尾張町の老舗文化の発信を行う市民と来街者の交流の場として運営する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	市民が集まる武蔵地区と観光客が多く訪れる東山地区との中間に位置する尾張町商店街の空き店舗において、まちの歴史文化資産を活かした展示を行うことは、市民と来街者との交流の機会を創出し、まちの魅力の増進につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】まちなかアートマネジメント事業

【事業実施時期】	平成18年度～		
【実施主体】	公立大学法人金沢美術工芸大学		
【事業内容】	石引商店街全体を芸術の場として捉え、空店舗を活用して、学生と市民及び商店街が協働したアートプロジェクトや、大学の多目的情報発信基地の運営を行う。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォークラブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	アート事業により商店街の魅力を向上させ、学生と住民との交流を促進することは「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】いきいきギャラリー運営事業

【事業実施時期】		平成 10 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		商店街の空店舗を利用し、地域住民の参加と協力により、高齢者・障害のある方の手作り商品を販売し、社会参加と自立支援を促進する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	高齢者・障害のある方の社会参加と自立支援を促進することで、地域の活性化を促すことは「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】観光事業助成事業

【事業実施時期】		昭和 60 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		中心市街地で開催される金沢の歴史、伝統、文化及び地域に関する各種観光イベントに助成する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	歴史文化資産を活かしたイベントを開催することは、来街者はもとより市民にとっても、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】「ようこそ加賀百万石の旅」誘客キャンペーン事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	金沢市観光協会、石川県観光連盟		
【事業内容】	「加賀百万石」の歴史資産を活用した旅行商品の開発や誘客促進イベントを開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1 日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	「加賀百万石」が息づく中心市街地の魅力を活用した事業を展開することは、来街者はもとより市民にとっても、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】宿泊観光客誘客推進事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	宿泊事業者等と連携し、インターネットによる国内外への宿泊情報や食や夜のイベントなど、金沢の夜の魅力を発信する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	食やナイトカルチャーなど、夜間滞在の魅力を発信することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】金沢百万石まつり開催事業

【事業実施時期】		昭和 27 年度～	
【実施主体】		金沢百万石まつり実行委員会	
【事業内容】		本市中心部において百万石行列や踊り流し、薪能、茶会など加賀百万石の文化、芸能にふれることのできる一大イベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史文化を活かした一大イベントを継続して開催することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭開催事業

【事業実施時期】		平成 29 年度～	
【実施主体】		いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会	
【事業内容】		金沢駅周辺を中心に、ゴールデンウィーク期間中、世界の著名な音楽家から市民音楽家までが参加する音楽祭をまちなかの複数会場で開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	金沢ならではのまちの魅力と音楽文化の魅力を国内外に発信し、まちなかの賑わい創出を図ることで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】文化発信イベント開催事業

【事業実施時期】		平成 18 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		茶屋文化や工芸などの伝統文化等、金沢の文化を発信するイベントやプログラムを企画・実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	金沢の歴史や伝統文化などを活用した体験型プログラムを提供することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】金沢ウォーク開催事業

【事業実施時期】		平成 8 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		中心市街地の公共施設、文化施設などを取り入れ、金沢の魅力を再認識できるコースを設定したウォーキング大会を開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地を回遊する機会を提供し、中心市街地に対する住民の理解を深め、歴史、文化や自然など、豊かな都市環境を再認識するイベントを開催することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内外	

【事業名】金沢マラソン開催事業

【事業実施時期】		平成 27 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		金沢の歴史的景観やまちなみ、豊かな自然とふれあうことができるマラソン大会を開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地を走るマラソン大会の開催を通じて、歴史文化遺産や自然に富んだ金沢の魅力を全国に発信し、交流人口が拡大することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内外	

【事業名】M I C E 誘致戦略推進事業

【事業実施時期】		平成 23 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		宿泊を伴う経済効果の高い学会、企業の会議、研修旅行など M I C E 全般の誘致活動を行う。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	M I C E 誘致に向けた取組を強化し、歴史文化遺産や自然に富んだ金沢の魅力を全国に発信し、交流人口が拡大することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内外	

【事業名】 公衆無線LAN構築推進事業

【事業実施時期】		平成 23 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		民間通信事業者と協力して、中心市街地の観光施設やコンベンション施設、商店街などへ公衆無線LANスポットを整備する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	外国人を含む来街者や住民が、中心市街地で手軽にインターネットを通じ、必要な情報を取得し、リアルタイムに発信できる環境を整備することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】 茶の湯のまち金沢魅力発信事業

【事業実施時期】		平成 30 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するほか、全国学生金沢大茶会を開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地に集積する茶室を活用して、本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信し、まちなかの回遊を促すことで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】文化施設活性化推進事業

【事業実施時期】		平成 30 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		文化施設への誘客を促進するため、文化施設の展示機能を強化するなど、金沢の文化を体験できるコンテンツ等を開発します。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	本市の文化体験ができるコンテンツにより魅力を発信し、文化施設の新規リピーターを誘客することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内外	

【事業名】金沢歌劇座建替検討調査

【事業実施時期】		平成 30 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		文化芸術活動の拠点施設として利用されている金沢歌劇座の建替えに向けて検討・調査を実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	金沢の文化芸術活動の拠点施設である金沢歌劇座を建替えることで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】シビックテックイベント開催事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	ICT を活用したまちづくりや地域の課題解決に取り組む「シビックテック」活動を広く市民に周知し、市民協働を促進する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	シビックテックイベントを通して、市民及びNPO等市民活動団体の交流を促進することで、ICTを活用した地域課題の解決につながり、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】金沢アカペラ・タウン開催事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	金沢市・金沢アカペラ・タウン実行委員会		
【事業内容】	金沢市内中心部のまちかどをステージとしたアカペラの祭典を開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	大学生が主体となり、中心市街地の野外を含む、まちかどの複数会場において幅広い年代が無料で楽しめる音楽イベントを開催することで、全国から学生が集まり、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 伝統工芸・文化体験コーナー及び伝統文化（ナイトシアター）実演事業

【事業実施時期】	令和2年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	金沢中央観光案内所（南町）において、国内外の旅行者への観光案内をはじめ、荷物預かりや各種手配等のサービスのほか、伝統工芸・文化体験の提供等を行い、中長期の滞在型観光を促進する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	市内中心部にあたる南町において、観光案内機能を充実させることで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 こども芸術文化体験フェスタ開催事業

【事業実施時期】	令和2年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	小中学生を対象とした多様な芸術文化体験イベントをまちなかで開催し、文化の担い手を育成する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	多様な芸術文化体験イベントをまちなかで開催することで、文化の未来を担う人材の育成と文化の魅力発信につながり、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】近江町市場「市民の台所」ふれあい推進事業

【事業実施時期】	令和2年度～令和4年度		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	近江町市場において、マナー問題や混雑などの観光に起因する課題に対応するため、市民と観光客のふれあいスペースの設置や、講座の開催等、市民及び観光客双方にとって快適な環境づくりに取り組む。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	近江町市場のマナー問題や混雑などを解消することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和5年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】市民リポーター事業

【事業実施時期】	令和2年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	本市中心部の魅力を市民が取材し、SNS等を活用して情報を発信する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	市民の目線からまちの魅力を効果的に発信し、新たな金沢ファンの増加を図ることで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 地域無形民俗文化財保存継承事業

【事業実施時期】		令和3年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		無形民俗文化財（加賀獅子など）の共演会を中心市街地で開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	まだ広く知られていない歴史遺産を保全・活用することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】 中心商店街大型商業施設テナント誘致支援事業

【事業実施時期】		令和3年度～令和4年度	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		中心市街地に設置されている大型商業施設への出店者に対して、奨励金を交付する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の集客の核となる大型商業施設の空き床を解消することは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和5年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】都心軸集客力向上店舗整備事業

【事業実施時期】	令和4年度		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	都心軸沿い（武蔵～香林坊～片町・広坂・堅町）にふさわしく、かつ広域的な集客力がある店舗（衣服・伝統工芸品等販売、健康スポーツ関連施設、「コト消費」につながる店舗）を整備する法人に対して、内外装工事費を助成する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	都心軸にふさわしくかつ広域的な集客力がある店舗の出店を促進させることは「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和5年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】商店街地域コミュニティ活性化イベント推進事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	商店街団体が地域住民との交流促進等を目的として実施する美化活動やまつり等のイベントの開催に対し補助金を交付する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	商店街による、その位置する地域コミュニティの交流や活性化等を意図したイベントが開催されることは「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 中心市街地出店促進フォローアップ事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		中心市街地の空き店舗への出店者に出店奨励金と継続奨励金を交付するとともに、事業継続に向けたフォローアップを実施する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	ウォークアブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	まちづくり会社と連携し、中心市街地の空き店舗への出店に係る支援と事業継続に向けたフォローアップを実施することで、中心商店街における空き店舗が解消され新規店舗が定着し「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和5年3月、 令和6年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】 本社機能等強化促進事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		中心市街地等に企業の本社機能付事業拠点やサテライト拠点を設置する企業に助成し、集積を促進する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	まちなかの定住者を増やす	
	【目標指標】	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	
	【活性化に資する理由】	まちなかに勤務地を集積することは現役世代をはじめとして、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】商店街ECサイト構築支援事業

【事業実施時期】	令和4年度～令和5年度		
【実施主体】	商店街振興組合ほか		
【事業内容】	中心商店街において、DX導入を促進し、商店街ECサイトを構築する。		
の位置付け及び必要性 の活性化を実現するため	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	複数の中心商店街で、ECサイトを構築することで、電子商業取引を促進させ店舗の営業を継続させることは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和6年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】文化財等解説板多言語化整備事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	主要な観光スポットにある文化財解説板等について、歴史都市・金沢への理解促進と魅力発信を目的として解説の充実及び多言語化整備を実施する。		
の位置付け及び必要性 の活性化を実現するため	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	金沢の歴史や文化財の解説板の多言語化を通じ、歴史文化資産の価値がより多くの人に伝わり、まちの魅力が高まるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】アートナイトイベント開催事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		芸術・文化施設、商店街、アートギャラリー等を巡るスポットの回遊性を向上させるため、周辺地域にて集客イベントを開催し、観光客を中心とした来訪を促す。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	芸術・文化施設等の資源や、商店街、アートギャラリー等の民間活力を取り入れ、本格的な観光客誘致に注力することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】現代建築レガシー継承事業

【事業実施時期】		令和3年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		著名建築家による国内外から評価の高い現代公共建築を継承するため、建築的価値の維持と長寿命化等のガイドラインを作成するとともに、まちなかにおいて学生が集い、競い合い、学び合うイベントを開催する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	著名建築家による国内外から評価の高い現代公共建築の優れた意匠を回復・維持し、将来へ継承することにより、重厚かつ魅力的な建築文化を形成するまちなかの魅力が高まり、まちなかへの来訪者が増加、中心市街地の活性化につながる。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】金沢食文化フェスタ開催事業

【事業実施時期】		平成 27 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		金沢の食文化の歴史や魅力について理解を深めるワークショップなどを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	本市の誇る資産であり多くの人が関心を持つ食文化をテーマとしたイベントを中心市街地で開催することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 6 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】金沢 A I ビレッジ形成促進事業

【事業実施時期】		令和元年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		まちなかの金澤町家や店舗を拠点に、クリエイターや I T エンジニア、プログラマー等が創作活動を行う場を集積し、地場企業等と共創・成長するコミュニティを形成する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史資産を活用してクリエイターらの拠点を集積することは、金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和 6 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】旧菓子文化会館利活用検討事業

【事業実施時期】		令和6年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		木の文化都市・金沢を象徴する建築物の整備に向けて、隣接する泉鏡花記念館のリニューアルを含めた利活用策について検討する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	まちなかの文化施設である泉鏡花記念館と旧菓子文化会館を一体的に再整備することで、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和6年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

【事業名】薦づくり担い手育成事業

【事業実施時期】		令和6年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		長町景観地区における冬の街並みを象徴する「薦掛け」の景観を保全するため、金沢職人大学校と連携し、薦づくりの担い手育成方策等について検討する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	長町景観地区の街並みを象徴する土塀を雪から守る薦掛けの景観を保全することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業	
【支援措置実施時期】		令和6年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内	

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定に連携した重点的な支援措置に関連する事業

【事業名】KOGEIかなざわ開催事業

【事業実施時期】		平成 29 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		本市の歴史と文化を象徴とする産業である「工芸」をテーマとしたイベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	クラフト創造都市である本市の特徴を活かし、工芸をテーマとした様々なイベントを中心に市街地の各所で展開することにより、新しい工芸文化の創造と交流人口の拡大が実現し、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		デジタル田園都市国家構想交付金	
【支援措置実施時期】		令和 5 年度～令和 7 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】欧米富裕層向け工芸品販路開拓事業

【事業実施時期】		平成 30 年度～	
【実施主体】		「KOGEI Art Fair Kanazawa」実行委員会	
【事業内容】		金沢クラフトのビジネス化及びブランド力向上を図るため、欧米富裕層向けに工芸品の新たな販路開拓を目的に、アートフェアを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	国内外トップギャラリーによるアートフェアにおいて、地元作家の作品を紹介する機会を設けることは、工芸のまち金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		デジタル田園都市国家構想交付金	
【支援措置実施時期】		令和 5 年度～令和 7 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 建築文化発信事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		連綿と受け継がれてきた本市の質の高い建築文化を国内外に発信するため、講演会やこども向けワークショップなど、建築文化を広めるための多彩なイベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史的重層性を備える金沢の建築文化を発信することは、金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		デジタル田園都国家構想交付金	
【支援措置実施時期】		令和5年度～令和7年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業

【事業実施時期】		令和3年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	まちなかの拠点施設において、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する事業を展開することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】		デジタル田園都国家構想交付金	
【支援措置実施時期】		令和5年度～令和8年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

【事業名】 加賀百万石「金沢城四季物語」開催事業

【事業実施時期】		平成 14 年度～	
【実施主体】		石川の四季観光キャンペーン実行委員会	
【事業内容】		金沢城公園及び兼六園を中心として、四季を通じた折々のライトアップイベント等を開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	本市中心部に位置する金沢城及び兼六園で夜間のイベントを開催することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 4 年度～令和 6 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 夜の賑わい創出・発信事業

【事業実施時期】		平成 25 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		夜間において、歴史文化施設などのライトアップの実施や文化施設での夜間イベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史文化施設等の資源を活かし、中心市街地の夜間の滞在人口を増加させることにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 5 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】金沢もてなしの伝統文化資産保存活用事業

【事業実施時期】		平成 23 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		金沢の食文化の集合体である料亭や和風旅館を「金沢もてなしの伝統文化資産」に認定し、保存活用を推進する。料亭文化や加賀料理の魅力を発信する料亭及び伝統芸能や食文化の魅力を発信する茶屋の改修に助成する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	文化的価値の高い料亭や和風旅館、茶屋を維持活用することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 5 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】KOGEI かなざわ開催事業（再掲）

【事業実施時期】		平成 29 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		本市の歴史と文化を象徴する産業である「工芸」をテーマとしたイベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	クラフト創造都市である本市の特徴を活かし、工芸をテーマとした様々なイベントを中心市街地の各所で展開することにより、新しい工芸文化の創造と交流人口の拡大が実現し、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 4 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】金沢 J A Z Z S T R E E T 開催事業

【事業実施時期】		平成 21 年度～	
【実施主体】		金沢 J A Z Z S T R E E T 実行委員会	
【事業内容】		9 月の 3 連休に、国内外のトップアーティストや学生・社会人バンドが参加するジャズの祭典を開催する。	
の位置付け及び必要性 活性化を実現するため	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の野外を含む、複数会場において、音楽イベントを開催することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 5 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】金沢食文化フェスタ開催事業（再掲）

【事業実施時期】		平成 27 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		金沢の食文化の歴史や魅力について理解を深めるワークショップなどを開催する。	
の位置付け及び必要性 活性化を実現するため	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	本市の誇る資産であり多くの人が関心を持つ食文化をテーマとしたイベントを中心市街地で開催することにより、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 5 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】欧米富裕層向け工芸品販路開拓事業（再掲）

【事業実施時期】		平成 30 年度～	
【実施主体】		「KOGEI Art Fair Kanazawa」実行委員会	
【事業内容】		金沢クラフトのビジネス化及びブランド力向上を図るため、欧米富裕層向けに工芸品の新たな販路開拓を目的に、アートフェアを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	国内外トップギャラリーによるアートフェアにおいて、地元作家の作品を紹介する機会を設けることは、工芸のまち金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 4 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】建築文化発信事業（再掲）

【事業実施時期】		令和 4 年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		連綿と受け継がれてきた本市の質の高い建築文化を国内外に発信するため、講演会やこども向けワークショップなど、建築文化を広めるための多彩なイベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史的重層性を備える金沢の建築文化を発信することは、金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和 3 年度～令和 4 年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】金沢A I ビレッジ形成促進事業（再掲）

【事業実施時期】		令和元年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		まちなかの金澤町家や店舗を拠点に、クリエイターやITエンジニア、プログラマー等が創作活動を行う場を集積し、地場企業等と共創・成長するコミュニティを形成する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	歴史資産を活用してクリエイターらの拠点を集積することは、金沢のブランド力を向上させ、まちなかの魅力がさらに高まるため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和3年度～令和5年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】三大都市圏観光キャンペーン事業

【事業実施時期】		平成19年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		三大都市圏や新幹線沿線都市における観光PRを強化し、誘客を促進する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	全国の人口の約5割が集中する三大都市圏を対象にした観光PRを実施することにより、来街者が増加するため。	
【支援措置名】		地方創生推進交付金	
【支援措置実施時期】		令和4年度～令和6年度	【支援主体】 内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 海外誘客推進事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	アジアや欧米において、金沢の文化や芸能の発信、現地旅行会社へのプロモーションを行う。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	M I C E 誘致に加え、まちなかに存在する歴史的文化的資産を活用し、外国人旅行者の誘客促進を行うことにより、来街者が増加するため。	
【支援措置名】	地方創生推進交付金		
【支援措置実施時期】	令和 4 年度～令和 6 年度	【支援主体】	内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 木の文化都市・金沢創出事業

【事業実施時期】	令和 3 年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	金沢の建築構造の基本である「木」にこだわったまちづくりを推進し、歴史と調和した金沢ならではの都市空間として「木の文化都市・金沢」を創出する。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14 施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	まちなみや生活に「木」を取り入れ、歴史と調和した金沢ならではの都市空間を創出することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業補助		
【支援措置実施時期】	令和 4 年度～令和 7 年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業名】金沢未来のまち創造館交流・創造推進事業（再掲）

【事業実施時期】	令和3年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	「金沢未来のまち創造館」を活用し、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	まちなかの拠点施設において、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創出と子供たちの独創力の育成を推進する事業を展開することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】	地方創生推進交付金		
【支援措置実施時期】	令和3年度～令和4年度	【支援主体】	内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】金沢美大柳宗理デザインミュージアム整備事業

【事業実施時期】	令和3年度～		
【実施主体】	金沢市		
【事業内容】	本市の建築文化の形成を担う有名建築家設計の建物を改修し、金沢美大が寄贈を受ける柳宗理のデザイン資料を活用したデザインミュージアムを整備する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引きつける	
	【目標指標】	中心市街地の市文化施設（14施設）と金沢未来のまち創造館の利用者数	
	【活性化に資する理由】	金沢の建築文化の一翼を担う有名建築家設計の建物を活用してデザインミュージアムを整備することにより、まちなかの魅力が高まるため。	
【支援措置名】	都市構造再編集中支援事業補助		
【支援措置実施時期】	令和6年度～	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業名】 中心商店街新たな将来像策定事業

【事業実施時期】		令和6年度～令和7年度	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		ヒト・モノ・情報の集積を促し、活力ある商店街を面的に形成するため、多角的な機能・価値を有する商店街の将来像を策定する	
の位置付け及び必要性	【目標】	ウォークラブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	中心商店街の将来像を策定し、魅力ある商業環境の形成を図ることで、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】		都市再生推進事業費補助（まちなかウォークラブル推進事業）	
【支援措置実施時期】		令和6年度～令和7年度	【支援主体】 国土交通省
【その他特記事項】			

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業名】 まちの食料品店出店促進・販売力向上支援事業

【事業実施時期】		平成15年度～令和4年度	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		生鮮三品を中心とするスーパー、小売店の出店及び整備を支援する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	まちなかの定住者を増やす	
	【目標指標】	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	
	【活性化に資する理由】	生鮮食料品店の出店やリニューアルを促進することは、子育て世代をはじめとして、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】			【支援主体】
【その他特記事項】			

【事業名】まちなかの食料品店継続・出店支援事業

【事業実施時期】		令和5年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		生鮮三品を中心とするスーパー、小売店の店舗継続及び新規出店を支援する。	
の位置付け及び必要性 活性化を実現するため	【目標】	まちなかの定住者を増やす	
	【目標指標】	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	
	【活性化に資する理由】	生鮮食料品店の店舗継続や新規出店を促進することは、子育て世代をはじめとして、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】金沢中心商業地三地区回遊性向上事業

【事業実施時期】		平成28年度～	
【実施主体】		金沢中心商業地三地区連携実行委員会・金沢駅前賑わい協議会	
【事業内容】		中心商業地の事業者が連携し、誘客と回遊性向上に向けイベント等を行う。	
の位置付け及び必要性 活性化を実現するため	【目標】	ウォーカブルなまちなかを形成する	
	【目標指標】	主要商業地の休日（1日間）の歩行者・自転車通行量	
	【活性化に資する理由】	・地元客や観光客、幅広い年代の誘客に有効なイベントを中心商業地が連携し、開催することは、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 商店街活動伴走支援事業

【事業実施時期】		令和5年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		商店街の課題解決や活性化に向け、商店街からの要望に応じた外部の専門家を派遣し、市職員と共に伴走型支援を実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	まちなかの定住者を増やす	
	【目標指標】	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	
	【活性化に資する理由】	専門家の伴走支援により商店街が直面する課題が解決され、活性化することは、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】			【支援主体】
【その他特記事項】			

【事業名】 商店街次世代人材連携促進事業

【事業実施時期】		令和5年度～	
【実施主体】		金沢市	
【事業内容】		商店街が新たな視点やスキルを持った学生団体と連携して実施する活性化事業を支援する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	まちなかの定住者を増やす	
	【目標指標】	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	
	【活性化に資する理由】	学生団体と連携することで、これまでにないアイデアにより商店街が活性化され、学生や若い世代をはじめ、誰にとっても住みやすいまちなかの形成につながるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】			【支援主体】
【その他特記事項】			